

さかみち



大船渡高等学校PTA会報 第92号 平成29年2月28日発行

特集 旅立ち～卒業に寄せて～2～3

PTA 会長 谷地 保

「ノブレス・オブリージュ (noblesse oblige)」……4

校長 高橋正紀「大高坂」……5

各種委員会活動報告……4～5

全国高 P 連千葉大会 参加報告……6

岩手国体総合開会式……7

修学旅行……8～9

部・同好会 活動実績……10～11

全国大会出場報告……11

卒業生からのメッセージ……12

第27回卒業生 菅原圭一さん

編集後記……12



演劇部公演



自学自習



大高祭茶会



吹奏楽部サマーコンサート



大高祭クラス発表

【表紙写真について】

作家司馬遼太郎の作品に『坂の上の雲』という題名の小説がある。
それは明治日本が追い求めた“近代国家”や“列強”を例えた題名である。
大高生は「大高坂の上の雲」を追い求めて今日も奮闘中である。

息子へ

男子の母

ついこの間入学式をむかえたばかりと思ってましたが、あっという間の3年間でしたね。部活と勉強を両立し、良き友達にも出会い、良き先生方にも恵まれ充実した3年間でしたね。支え、支えられてきた友人一生の友として下さい。この3年間支えられてきた先生方を忘れないで下さい。大高で過ごした3年間が一生の宝になるようこの先の大学生活、社会生活頑張ってください。

感謝

女子の母

卒業おめでとう。入学したばかりの時は自分に自信がないためか「こうなりたい!こうしたい!」となりた自分分を口に出すことがありませんでしたね。そんなあなたが熱心に部活に打ち込み少しずつ自信を持ち始め目標を掲げ、その目標を口に出して話してくれた時には大変感激しました。大船渡高校に入って本当に良かったのだと親として高校生活に関わったすべての方々に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

ありがとう

男子の母

担任の先生へ…「元気・笑顔・健康!」と、息子の良いところをしっかりと見ていてくれました。ありがとう。

仲間・友だちへ…辛い時苦しい時支えてくれて、楽しい時一緒に過ごしてくれてありがとう。

息子へ…苦手な勉強にも耐え、毎日お弁当をきれいに食べ「おいしかったよ」ってありがとう。

息子と出会ってくれたすべての方々、大きく大きく成長させて頂き本当にありがとうございました。

これからは自分の夢や目標に向かって全力で努力して下さいね。

ありがとう

女子の母

大船渡高校の合格発表のとき「ちゃんと番号があった。」と聞いたとき涙があふれてとまりませんでした。

部活と勉強で板ばさみになり、何より皆について行くのに精一杯だったけど、休まずよくがんばりました。先生方には、あたたかく時には厳しくご指導いただき心から感謝申し上げます。何より受け入れ支えてくれた3年生のみなさん、本当にありがとう。そして卒業おめでとうございます。

大高の卒業生

女子の父

私の薦めもあり、大高に入学することを決意してから三年が経過しました。苦しい事、悲しい事、楽しい事、色々な事があったと思いますが無事卒業を迎えようとしております。卒業後も大高の卒業生としての誇りを持ちながら何事にも前向きに進んでほしいと思っております。先輩、後輩、同級生、先生方の支えによって素晴らしい高校生活を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。

旅立つ貴方へ

男子の母

入学したての貴方は毎日弱音ばかりでその度になだめたり励ましたりの毎日を過ごしましたね!当時本当に心配しました。

あれから月日は流れ今では穏やかでたましい表情になりましたね!

喜んだり励ましあう仲間とも出会い大変だったけど充実した高校生活を送れたのではないのでしょうか?貴方の人生のたった3年間でしたが、この3年間の思い出を宝物にしてこれからの道を築いて下さいね!

最後に息子に携わってくださった皆さん、今まで本当にありがとうございました。これからもずっと温かく見守っていて下さい。

卒業おめでとう

女子の母

貴女の高校生活は充実していましたね。たくさんの良き友達に恵まれ、一生の財産です。これからは自分の目標に向かって前進して下さい。いつでも貴女の応援団です。先生方には熱心なご指導を頂きまして心より感謝しております。本当にありがとうございました。

旅立つ

～卒業に

卒業おめでとう!!

男子の母

大高生としての3年間、部活に勉強に頑張りましたね。

18年間…長かったですか?親にとっては忙しい毎日でしたが、あっという間でした。もっとしてあげるべきことがたくさんあったのではなかったりしますが、君ならきつとどこに行ってもなんとかなうまくやっていってくれると思います。家族はどんな時も君の味方だから自分の人生、楽しんでいこうね!!先生方3年間本当にありがとうございました。

おめでとう

女子の母

親からすると娘がどのような環境の中でがんばっているのか心配でしたがこの3年間クラスも部活も思いっきり楽しめた様に感じます。これはまわりの先生方、友達、親(家族)のおかげだという感謝の気持ちを持ってこれからの大学生活、がんばってほしいと思います。

ありがとう

男子の母

文武両道を目指し3年間、部活・勉強共に頑張っていましたね。

苦しく、辛い部活を乗り越えていく姿はとてものしく感じられました。

この様に成長することができたのは、一緒に励まし合いながら歩んできた友達、たくさんの事をご指導してくださった先生方のおかげと感謝しております。ありがとうございます。そしてあなたのおかげでたくさんの方と出会い、いろいろな経験をすることができました。ありがとう。

立ち

寄せて～

次代を担う皆さんへ

男子の母

卒業おめでとう。進路の決まった皆さん、おめでとうございます。まだ受験勉強中の皆さん、もうすぐ春、桜は咲きます。自分を信じて前を向いてください。

3年間の高校生活はいかがだったでしょうか。この多感な時期のかけがえのない貴重な体験の積み重ねは必ずこれからの人生の辛いこと苦しいことを乗り越える力となるはずです。自信を持ち、何事もプラス思考で次のステップへ進んでください。

我が子へ。全てが充実した恵まれた高校生活だったはず。ひとえに先生方をはじめ、周りの方々の温かい支えがあったからこそ。どんな時も感謝の気持ちを忘れずに。

ありがとう

女子の母

たった3年間の高校生活はあっという間に過ぎてしまいました。

長女である娘と共に、初めて高校生の親になった私は、一緒に喜び一緒に悩んできたつもりでしたが、人生の先輩としてお手本になるような事は何も出来ませんでした。それでも先生方や同級生みなさんの力を借りて着実に成長していく娘の姿を見せていただくことができました。

この3年間を周りで支えてくださった方々へ、本当にありがとうございました。

この3年間を誇りに、娘よ胸を張って生きてゆきなさい。

夢への通過点

女子の母

高校3年間、部活と勉強の両立、そしてたくさんの友達に恵まれ、学校生活も楽しく過ごすことができたと思います。将来の夢も固め次への一步を踏み出すこととなるでしょう。新しい生活や出逢いと不安もあると思いますが、自分で決めた道です。将来へ向けて何事にも前向きで書いて下さい。遠くからでもいつも応援しています。

先生方と友達には本当に感謝でいっぱいです。～ありがとうございました～

卒業おめでとう

女子の母

卒業おめでとう。高校3年間良く頑張りましたね。勉強と部活の両立はとても大変だったと思います。

先生や友達には相談にのって頂きとても感謝しております。本当にありがとうございます。娘も、少し大きくなり安心していきます。これからも応援しています。

新たな冒険

男子の母

RPGで貴方は勇者です。物語を進めるにあたり、1人ではハッピーエンドを迎えることはできません。

魔法を使える(自分にない長所がある)者、傷を癒やしてくれる(悩みを相談できる)者...など、貴方はこの高校生活で、良いパーティーをつくることができました。

世界(社会)に出れば、今までにない大きな壁が行き先を阻んでいる事もあります。冒険に行き詰まる事は誰でもあります。恥ずかしいことはありません。私はそれを貴方がどうリカバーし、クリアするのか?に関心があります。

様々な方法で経験値を上げ、レベルアップして下さい。

そして、どうか子どもたちの冒険(未来)に更なる良い出会いがありますように。



ノブレス・オブリージュ (noblesse oblige)

PTA 会長 谷地 保

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、ご子息、ご息女のご卒業、誠にありがとうございます。

東日本大震災から6年が経過します。当時、卒業生の皆さんは、小学校6年生で、まさに小学校の卒業、中学校への進学を控え、期待に胸膨らませていたところだったと思います。

中学、高校と、子供から大人へ成長する最も多感な時期に、苦難の連続であったと思います。

ですが、皆さんは、その逆境を糧とし、とても立派に成長されました。

自主独立の校訓に則り、日々の勉強・部活動・ボランティア活動等々一生懸命取り組み、自身の成長とともに、私達保護者をはじめ、地域の方々にもたくさんの元気、活力を届けてくれて、それが復興の一助になっております。卒業後は、進学される方、就職される方、様々ですが、是非、自信を持って、次のステージに進んで下さい。

「ノブレス・オブリージュ (noblesse oblige)」という言葉があります。

フランスで19世紀に誕生した理念です。現代社会においては、道を切り拓き、成果を社会に還元する、という解釈で宜しいかと思います。新渡戸稲造も「武士道」において同様の理念を説いています。これって、まさに皆さんが大船渡高校で様々な活動を通じて自然と学んだ事です。

時に切磋琢磨し、時に協力しあい、この学び舎で出会ったご縁を大切に、今後の更なるご活躍をご祈念申し上げます。

最後に、保護者の皆様におかれましては、日々ご多用の中、貴重なお時間を割いてご協力いただいたお蔭で、PTA 活動も活発なものとなりました。そしてそれは学校・生徒の皆さんにとって多大な貢献でありました。私見ですが、何よりも PTA を通じて皆様とご縁を持つことが出来た事、これもまた貴重な財産です。名ばかりの会長で恐縮ですが、お陰様で無事活動出来ました事に、感謝と御礼を申し上げます。3年間、大変お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



研修委員会

研修委員長 濱口 智

昨年度までの研修旅行は、内容が素晴らしいものの、忙しい現状を反映して、参加していただく方が集まらないという悩みを抱えているとお聞きました。そこで、今年度は震災直後に行っていた講演会の形式を考えました。保護者だけではなく生徒たちにも聞いていただきたい内容を考えて先生や研修委員の共通の知人であるサッカー J 1 川崎フロンターレプロモーション部長の天野春果さんに大船渡高校に来ていただき、11月16日に講演会を開催することになりました。

当日は、たくさんの保護者や生徒さんに集まっていただき、留学時代からトップチームとなった現在まで、いかに地域・観客の思いと密着して川崎フロンターレを盛り立ててきたかの物語を画像など使いながらわかりやすく語っていただきました。未来に向かって伸びていく生徒たちや大船渡の街にもぴったりの話だったと思いました。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

健全育成委員会

健全育成委員長 海山久美子

「おはようございます。」

健全育成委員会では、本年度も先生方や生活委員の協力をいただきながら、「登校時の朝の一声運動」を行いました。一日目は小雨が降る中での活動でしたが、残りの三日間は秋晴れの澄んだ空気と朝日、ハツラツと登校する生徒がとてもまぶしく見えました。

PTA の方でもきっと我が子が小学生時代に朝のあいさつ運動を行ったことがあることと思いますが、子どもたちの姿が小学生か高校生かの違いだけで、さわやかなあいさつを交わすことができました。あいさつは家庭においても社会においてもマナーの基本でもあり、コミュニケーションをとる上でも大切な行為です。その人の気持ちが映し出されます。

大高生の皆さんは、日頃の勉強やスポーツの疲れを感じさせない元気なしかも礼儀正しくあいさつする姿は「さすが大高生だなあ」と感心させられました。

これからもあいさつや一声を大切にしながら人脈の輪を広げ、社会に羽ばたいていって欲しいと願っております。私にとってもあいさつや一声の大切さを改めて感じさせられる、貴重な時間となりました。ありがとうございました。



大高坂

校長 高橋 正紀

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。各学年 PTA には多くの方に出席いただき、各委員会でも、ママショップ・挨拶運動・講演会の開催・広報誌の発行と活発に活動していただきました。お忙しい時間を割いての意欲的な活動に改めて感服しています。

さて、PTA 会報の名称は「さかみち」ですが、私は坂道に少しばかり縁があるようで、以前勤めた前沢高校も坂道のある学校でした。旧国道 4 号線から西に折れ、左右に 3 回ずつ曲がりながら登るかなり傾斜のきつい坂道です。その坂道は「青春坂」と呼ばれ、本校と同じように運動部の生徒がよくトレーニングに使っていました。

大東高校の「乙女坂」も有名です。訪ねたのはずいぶん前のことですが、傾斜もカーブも急な坂道だった記憶があります。女学校を創立の起源とする学校ですから、きつい坂道にもかかわらず、「乙女坂」という愛称になったのは納得できます。ほかに思いつくのは、本校同様、校地内に急坂のある葛巻高校、正門まで長い坂道が続く岩谷堂高校・福岡高校などですが、ただ、これらの坂道には愛称がついていたかどうか。

本校の「大高坂」です。この坂道の特徴は、正門から校舎に向かって真っ直ぐだということです。何と痛快ではありませんか。まさに高校生の学舎にふさわしい坂道です。

卒業生諸君、卒業おめでとう。そして、卒業生の保護者の皆様には心からお祝いを申し上げます。卒業生もその保護者の皆様も「大高坂」から卒業です。でも、また上りたくなった時には訪ねてみてください。「大高坂」はいつでも手を広げてじっと待っていますから。



広報委員会

広報委員長 川口 儀子

大高 PTA 会員の皆様、今年度も広報委員会の活動にご協力いただきまして大変ありがとうございます。今年度も 7 月と 3 月の合計 2 回 PTA 会報「さかみち」を発行することができました。ご覧いただきましたでしょうか？

部活動の大会の結果や修学旅行の様子など、生徒たちの学校生活を紹介させていただきました。きっとそれぞれが充実した高校生活・部活動だったのではないのでしょうか。新年度も存分に頑張ってほしいものです。

今年度の寄稿文をお願いしたお二人の方からは大変貴重なメッセージをいただきました。快く引き受けていただき誠にありがとうございました。

最後に、活動が円滑に進むよう段どりをしてくださった先生方、一緒に活動してくださった委員の皆さん、本当にありがとうございました。今後とも「大船渡高校 PTA 広報委員会」の活動に、ご理解ご協力をお願い致します。

母親委員会

母親委員長 武田 鈴江

大船渡高校 PTA 会員の皆様、日頃より母親委員会の活動にご協力いただき感謝申し上げます。

母親委員会の活動はクラスマッチでの「ママショップ」の運営がメインになります。今年も母親委員会の方々、PTA 会員の方々と共に飲み物、パン、おにぎりなどの販売を行いました。勝利という目標に向かって一致団結し、エネルギーに満ちあふれている生徒達、先生方に圧倒されながら有意義な時間を過ごすことが出来ました。

また 12 月 10 日（土）には大船渡東高校萱中いこい農場にて高 P 連気仙地区母親会員交流会が行われ、3 人の母親委員の方、熊谷先生と参加し他校の母親委員の方々と和やかに交流してきました。他校の活動などが聞けてとても参考になりました。

最後に私の力不足で、色々と不備な点があったかとは思いますが申し訳ありませんでした。しかしながら母親委員の皆さん、PTA 会員の皆さん、先生方のご協力のおかげで運営できた事に心より感謝申し上げます。これからも「母親委員会」の活動にご理解ご協力を宜しくお願い致します。

第66回全国高等学校PTA連合会大会 千葉大会に参加して

今年度のPTA全国大会は、8月25日（木）・26日（金）の2日間、千葉市の幕張メッセを会場に行われました。昨年度は盛岡で岩手大会が開催され、PTA役員をはじめとする多くの会員の皆様に参加していただきました。今回は谷地PTA会長、里館副校長、志田事務局長の3名で参加してきました。

1日目の基調講演では千葉敬愛短期大学学長の明石要一さんが、「高校生の自立を支援するPTA活動の在り方」と題して、今こそ男子の教育が重要だということをユーモアを交えながらお話になりました。その後、千葉県の高校生たちによるアトラクション、午後は様々な分科会に分かれての発表と質疑応答など盛りだくさんな内容でした。

2日目は千葉市出身の女優市原悦子さんの記念講演がありました。市原さんの生い立ちから女優になり現在までの生き様を、まるで演じるがごとく話す様子はさすがの一言。終わりに童話を朗読したときには、会場にいる1万人の参加者が完全に「女優市原悦子」に魅了されてしまいました。

閉会式では次回開催地静岡県に全国高P連旗が授与され、千葉大会実行委員等の挨拶とともに大会の幕を閉じました。本当に充実した2日間の大会でした。



平成 29 年度の高P連全国大会は
静岡県において開催されます。

岩手国体総合開会式 式典前演技に参加して

10月1日(土)

国体で感じたこと

1年5組 川原知恵

私は、国体を終えてとても貴重な経験をさせてもらったなあと思いました。国体は、各都道府県で行われるから47年に1度しかない行事なのでこの年に出る事が出来て本当に嬉しかったです。

土・日の休日を削って北上まで行って練習をしたけれど、屋外という事もあって天候に左右された日もあったりして大変でした。けれど、私たちと同じ様に式典前演技に出る人達と交流する事が出来ました。見ず知らずの人だらけだったけれど、話しかけてくれたり笑わせてくれたりして緊張がほぐれたし、場も和やかになって素晴らしい人達だなと思っていました。天候に左右された時は、今までにないくらいの日焼けをしてしまって皮膚が痛すぎて苦労した事を覚えています。

国体当日の日は、今までやってきた事を全て出し切ろうと思って挑みました。人生の中で体験する機会もあるかないかくらいだと個人的には思っていました。お客さんもたくさん入ってこんなに多くの人たちの前でやるんだと少し驚いていました。その中でも天皇を生で見た事が心に残っています。いつもテレビで見ていたの生で見る事が出来て良かったです。

国体自体は、震災からの復興も関わっていて、今の現状を伝えられたにも感じました。たくさんの支えがあつての今だと思うので感謝を忘れてはいけなと思うし、助け合うという事が大切なのだと感じました。中継を見ていた親からは、「良かったよ」と言ってもらえたので今までやってきて良かったなと思いました。今回の体験はずっと記憶に残しておきたいし、また何かに活かしていけたらなあという風に思いました。どれだけの人が見てくれたかは分からないけれど、言葉だけでなく姿で気持ちを表せられる様になりたいと思いました。

国民体育大会を終えて

1年4組 櫛引美音

2016年10月1日に希望郷いわて国体が始まりました。天皇皇后両陛下が見守る中、旗をふったり布を持ちたりして、決められた演技を堂々と言うことができました。

国民体育大会とは、1946年から毎年行われている国を挙げて取り組む行事で、47回あるうちの1回を岩手県でやる、しかも天皇皇后

両陛下にも来ていただくという盛大な行事だということを初めて聞かされ、とても驚きました。また、こんな沿岸の高校が参加してもいいものなのだろうか、とてもとまどいました。

真夏の8月から練習が始まりましたが代表者の方の声が届かなかったり、動きを間違えてしまうことがたくさんありました。体操の人や小学生の人や剣舞の人々に迷惑をたくさんかけてしまって、とても申し訳ないという気持ちになりました。校庭での練習を積んでから臨みたいとも思いましたが、それはただのワガママで、もっとしっかりやればよかったと後悔しました。

リハーサルでも決めきれませんでしたでしたが、本番では、大船渡東高校の人達と協力して今までで一番よく動けたのではないかなと思いました。

47年に一度の貴重な機会に国体で演技させていただき、ありがとうございました。ここで経験したことをまた他のことに活かしていきます。

天皇后両陛下の前で

1年4組 金野竜大

初めて自分達が国体の式典前演技に参加すると聞いた時はとても驚きました。まさか県を挙げての計画に、こんな田舎の高校生が選ばれるなんて思ってもいませんでした。しかし、一生に一度体験できるかわからない事を体験させていただいたことに今は感謝の気持ちでいっぱいです。

練習が始まったのは、もう何ヶ月も前になりますが、ぐだぐだで申し訳ないと感じていたことだけは鮮明に覚えております。初めて北上で練習したときも、内容をほとんど忘れていたため、県内の数ある学校の中から選ばれた学校とは思えないほど下手でした。しかし、そんな僕らに優しく「良かったよ」などと言ってくださった国体関係者の方には感謝しています。リハーサルでIWATEが作れなかった時も優しく励ましてくださりまして、ありがとうございます。そんな皆さんの協力があったからこそ、僕達も本番で布文字を成功させられました。

当日、人生で初めて近くで天皇后両陛下に御目に掛かることができたのも自分の人生にとって大きな経験となりました。

交通費から飲み物、弁当などたくさん支給していただいたことも忘れません。この度の国体関係でたくさんお世話になりました。ありがとうございます。



修学旅行



12.13(火) 姫路城

2年5組 今野明音

修学旅行1日目の見学先は、「姫路城」でした。初日から雨で姫路城まで辿り着くのも大変だったけど、建物に入ってからにはそんな苦労を忘れるくらい古くからある造りに圧倒されました。階段が多く、一段一段が高かったり角度が急だったりして、登ったり降りたりするのが大変だったけど、今はそのような造りの建物がないのでいい体験になったなあと思いました。姫路城を見学してからは近くにあるお店でそれぞれ買い物や食べ物を食べたりして楽しんでいたので良かったです。1日目から充実した修学旅行になってとても楽しかったです。

12.14(水) 東大寺大仏殿・奈良公園

2年4組 千田彩紗

2日目に訪れた奈良公園・東大寺では、入るとすぐにたくさんの鹿が出迎えてくれました。人懐っこく可愛い鹿たちと記念撮影後、大仏殿へ進むと、その大きさに圧倒され、感嘆の声があちこちで上がっていました。教科書で見るより何倍も迫力があり、非常に印象深かったです。また、大仏様の鼻の穴と同じ大きさの穴があいている柱があり、その穴ぐりも大いに盛り上がりました。大人気で普段は200人ほど並ぶこともあるそうですが、運良く誰も並んでおらず大高生で独占できました。その後、鹿たちと戯れたり襲われたりした後、奈良公園・東大寺を後にしました。奈良での忘れられない思い出となりました。

興福寺

2年5組 須藤優太

興福寺では国宝館に行き、その後自由に寺を見学しました。

国宝館の中には、千手観音菩薩像を中心に興福寺の歴史を伝える絵画・仏像・工芸品・典籍・文書・歴史資料・考古遺物などが収蔵されています。阿修羅像など教科書で見たことのある仏像があったので、関心を持って見学することができました。その他にも、東金堂・北円堂・南円堂・五重塔なども見ることができたので良かったです。奈良公園の一部でもあるので、近くに鹿もいました。写真を撮る人もいたり、鹿せんべいをあげたりして楽しく鹿と交流することができました。

法隆寺

2年3組 泉田宗志

7世紀に創建された、聖徳太子とは切っても切れない関係である本寺院は、古代寺院の姿を現在に伝える仏教建築物である。

西院伽藍は金堂、五重塔を中心とし、東院伽藍は夢殿を中心とした構造となっている。西院伽藍はご存知のとおり、現存する木造建築物のなかで世界最古である。なぜここまで幾多の災害に見舞われながらも今なおその姿を保ち続けているのか。そこには驚くべき事実が隠されているのだが、ここに書くには余りにも余白がなさすぎる。ご自身で体感してみてください。

柿くえば鐘が鳴るなり法隆寺。私はぜんざいを頂きました。バスの発車時刻に急かされてしまい、ただ胃の空間を満たすだけになってしまったので、次回の修学旅行は五臓六腑に染み渡らせたい。





薬師寺

2年5組 千葉進平

薬師寺ではお坊さんの法話を聞き、その後お参りをするという流れでした。法話では少しジョークを含めながら話を始めるなど、想像していた法話と大分違って、とても楽しく聞くことができました。法話の内容は、薬師寺の西塔は焼失してから再建されるまでに453年という長い年月がかかっているという話や普段あたり前だと思っていることの陰には誰かが努力しているという話、金堂での参拝の仕方など30分という時間がとても短く感じられるほど全員が聞き入っていました。

金堂に入っすぐ見える薬師三尊像は中央に薬師如来、向かって右に日光菩薩、左が月光菩薩となっていて世界でも最高の仏像と仰がれています。

12.15 (木) 金閣寺

2年1組 佐々木唯花

足利義満が建てた金閣寺は別名鹿苑寺と呼ばれていて、応仁・文明の乱で荒廃、江戸時代に本堂、書院など一部が再建されました。1950年には創建以来残っていた金閣寺は放火により焼失し、1955年に復元されました。また、1994年には世界文化遺産に登録されました。

見学しに行った日は生憎の雨でしたが、雨の中でも、皆金閣寺の写真の正面からだけでなく、側面や後ろからも撮っていました。友達と一緒に記念撮影したり、自分の納得できる写真が撮れるまでシャッターを切ったりと、皆楽しんでいました。

USJ

2年2組 横澤綾乃

ユニバーサルスタジオジャパンは、今回の修学旅行で最も楽しみにしているという人が多かった場所でした。それもあってか、入場前に説明を受けている時や、記念撮影の時から皆そわそわしていました。

入場してみると、まるで別の世界に入ったように、見たものすべてがキラキラしていました。また、何かを被っていたり、付けていたり、買ったりすると、クルーの皆さんが褒めてくださいます。

アトラクションは、常に混んでいて、1時間待ちが普通のようなものでした。しかし、アトラクションは、それぞれ待って乗る価値があるくらい楽しめるものでした。



12.17 (土) 清水寺

2年5組 金野紗佳

修学旅行の最後を締め括ったのは清水寺。テレビや雑誌でおなじみの景色を見られることに、みんなの顔には期待の色。到着してからは、清水寺の正門である仁王門の横で集合写真を撮った。それから各クラスごとにガイドさんに説明をして頂き、自由行動に移った。自由行動で多くの生徒が集まっていたのは、地主神社と音羽の滝。地主神社は縁結びの神様として知られている。音羽の滝では、学業の水を飲む生徒が多く見られた。季節的に紅葉は終わり、雪は降っていなかったが、それでも清水寺の風景は美しかった。このような感情を持てること、美しい景色があること、日本人であることを誇りに感じた5日間だった。



平成 28 年度 部・同好会活動実績

野球部

■全国高等学校野球選手権大会
2 回戦 大船渡 10-0 五校連 (6 回コールド)
3 回戦 大船渡 2-7 宮古 (3 回戦敗退)
■秋季東北地区高等学校野球選手権大会沿岸南地区予選
1 回戦 大船渡 3-2 釜石商工
代表決定戦
大船渡 0-4 高田
敗者復活 2 回戦
大船渡 10-0 大塩 (6 回コールド)
敗者復活第 3 代表決定戦
大船渡 1-8 釜石商工 (7 回コールド)

バレーボール部 (男子)

■ビーチバレー岩手県大会
佐々木 (優)・志田 組 (準優勝 = 全国大会出場)
佐藤・澤 組 (2 回戦敗退)
佐々木 (京)・三浦 組 (初戦敗退)
今野・菊池 組 (初戦敗退)
■全日本ビーチジュニア男子選手権大会
予選グループ戦 大船渡 1-2 長野
大船渡 1-0 岡山
(天候不良によりこれ以降 1 セットマッチ)
決勝トーナメント
大船渡 0-1 宮崎
(決勝トーナメント敗退)

■全日本バレーボール高等学校選手権大会予選
1 回戦 大船渡 2-0 一関工業
2 回戦 大船渡 0-2 水沢工業
■新大会県大会
1 回戦 大船渡 2-0 北上翔南
2 回戦 大船渡 2-1 盛岡誠桜
準々決勝 大船渡 0-2 不来方 (ベスト 8)

バレーボール部 (女子)

■ビーチバレー岩手県大会
佐藤・上部 組 (初戦敗退)
山口・新沼 組 (2 回戦敗退)
道下・黒澤 組 (準優勝)
■全日本バレーボール高等学校選手権大会予選
1 回戦 大船渡 2-1 盛岡第三
2 回戦 大船渡 2-0 福岡
3 回戦 大船渡 0-2 盛岡市立 (ベスト 8)
■新大会県大会
1 回戦 大船渡 2-0 不来方
2 回戦 大船渡 2-0 水沢第一
準々決勝 大船渡 0-2 盛岡誠桜 (ベスト 8)

空手道部

■新大会県大会
男子個人組手 高萩 3 位 (東北選抜出場)
男子個人組手 鈴木 (ベスト 8)
女子個人組手 佐々木 (ベスト 8)
男子団体組手 準優勝 (東北選抜出場)
■岩手県少年男子形
2 回戦 富沢 5-0 萩原 (静岡県)
3 回戦 富沢 5-0 飯田 (愛知県)
準決勝 富沢 5-0 田中 (京都府)
決勝 富沢 1-4 山中 (埼玉県) 準優勝

ソフトボール部 (女子)

■新大会県大会
1 回戦 大船渡 2-10 花巻北

ソフトテニス部 (男子)

■新大会県大会
個人戦 熊谷泰成・道又綾、
村上颯哉・新沼英樹、
熊谷真人・中山拓 (2 回戦敗退)
団体戦 1 回戦 大船渡 1-2 宮古

ソフトテニス部 (女子)

■新大会県大会
個人戦 嶋村瑞香・遠藤美礼

(3 回戦敗退 = ベスト 32 選抜インドア大会出場)
団体戦
1 回戦 大船渡 3-0 大野
2 回戦 大船渡 2-0 盛岡南
3 回戦 大船渡 0-2 黒沢尻北
(ベスト 16 選抜インドア大会出場)
■選抜室内ソフトテニス県大会
個人戦
嶋村瑞香・遠藤美礼 (1 回戦敗退)
団体戦
1 回戦 大船渡 1-2 平舘

陸上競技部

■県民体
新沼瑠菜 少年 A (8 部) 400m
1 分 02 秒 08 (第 6 位)
田中杏奈 少年 A (8 部) 3000m
10 分 38 秒 98 (第 6 位)
新沼瑠菜 少年 A (8 部) 走幅跳
4m94 (第 3 位)
今野明音 少年 A (8 部) 走幅跳
4m87 (第 5 位)
小松未夢 少年 B (9 部) 800m
2 分 29 秒 79 (第 6 位)
今野明音 少年共通やり投
35m91 (第 1 位)
少年共通 4 × 100mR
大津・新沼・岩渕・今野 51 秒 47 (第 6 位)
■新大会県大会
岩渕有純 400m 1 分 00 秒 79 (第 3 位)
新沼瑠菜 400m 1 分 02 秒 34 (第 6 位)
阿部風薫 3000m 10 分 33 秒 21 (第 3 位)
田中杏奈 3000m 10 分 39 秒 61 (第 5 位)
今野明音 やり投 34m79 (第 2 位)
七種競技 3770 点 (第 1 位)
■東北新人陸上競技選手権大会
岩渕有純 400m 1 分 01 秒 14 (予選敗退)
阿部風薫 3000m 10 分 26 秒 99 (第 18 位 / 24 名)
今野明音 やり投 35m50 (第 11 位 / 24 名)
七種競技 3880 点 (第 5 位 / 18 名)
■全国高等学校女子駅伝競走大会岩手県予選会
(第 6 位 / 18 校)

バドミントン部

■種目別バドミントン選手権大会
< ダブルス >
男子 菅崎・近江 (2 回戦敗退)
金野 (博)・金野 (天) (3 回戦敗退)
女子 大畑・千葉 (2 回戦敗退)
岡崎・村上 (3 回戦敗退)
< シングルス >
男子 佐々木 (慧)・金野 (天) (1 回戦敗退)
女子 千葉 (千) (1 回戦敗退)
大畑 (3 回戦敗退)
■新大会県大会
< 団体戦 >
男子 2 回戦 大船渡 3-0 水沢農業
3 回戦 大船渡 0-3 盛岡市立
(3 回戦敗退)
女子 1 回戦 大船渡 2-3 盛岡中央
(初戦敗退)
< 個人戦 >
女子ダブルス 大畑・千葉 (1 回戦敗退)
女子シングルス 大畑 (2 回戦敗退)
男子シングルス 金野 (博) (1 回戦敗退)

水泳部

■新大会県大会
< 男子 >
50m 自由形 新沼憐人・菅原太一 (出場)
100m 自由形 新沼憐人 (出場)
< 女子 >
50m 自由形
佐々木恵利佳・新沼薫乃・藤田葵子 (出場)
100m 自由形 新沼薫乃・村上麗奈 (出場)
100m 平泳ぎ 佐々木恵利佳・鈴木響子 (出場)
200m 自由形 村上麗奈 (出場)
200m 平泳ぎ 鈴木響子 (出場)

400m リレー 新沼・藤田・鈴木・村上 (出場)
■サッカー部
■全国高等学校サッカー選手権県大会
2 回戦 大船渡 4-0 花巻北
3 回戦 大船渡 0-1 盛岡市立
■新大会県大会
1 回戦 大船渡 4-0 花北青雲
2 回戦 大船渡 1-2 盛岡商業
■高円宮杯 U18 ILEAGUE2016 Division1
(8 位)

弓道部 (男子)

■全国選抜大会県予選
男子団体 (ベスト 8)
準決勝 9 中 (28/48 中で 5 位敗退)
■新大会県大会 男子団体 (予選敗退)

弓道部 (女子)

■東北高校弓道選手権大会
女子個人 藤野ゆい
(予選 5/8 中で予選敗退)
■全国高校弓道大会 (インターハイ)
女子個人 藤野ゆい (予選敗退)
■全国選抜大会県予選 女子団体 (予選敗退)
■新大会県大会
女子団体 予選 20/40 中通過
決勝トーナメント
1 回戦 大船渡 13-11 水沢
準決勝 大船渡 10-9 大船渡東
決勝 大船渡 7-12 不来方 第 2 位
射道優秀賞 受賞

卓球部 (男子)

■新大会県大会
学校対抗 1 回戦 大船渡 1-3 盛岡第四
個人戦 シングルス 石橋 瑞久 (2 回戦敗退)

卓球部 (女子)

■新大会県大会
学校対抗 2 回戦 大船渡 3-0 盛岡中央
3 回戦 大船渡 1-3 花巻北
(ベスト 16 東北高校選抜予選会出場)
個人戦 ダブルス
森下莉江・澤田ひより・熊谷亜美・熊谷愛香
(1 回戦敗退)
村上由真・新沼真優
(2 回戦敗退)
個人戦 シングルス
千葉英恵 (1 回戦敗退)
村上由真・澤田ひより
(2 回戦敗退)
■東北大会県予選
予選リーグ 1 勝 3 敗 (4 位リーグへ)
順位決定リーグ (4 位リーグ)
0 勝 2 敗 (総合順位 12 位)

バスケットボール (男子)

■新大会県大会
1 回戦 大船渡 66-71 大東

バスケットボール (女子)

■新大会県大会
1 回戦 大船渡 41-53 久慈

柔道

■1・2 年体重別選手権県大会
1 年男子個人試合
60kg 級 鈴木新之助 (3 回戦敗退)
2 年男子個人試合
66kg 級 佐々木寛治 (3 回戦敗退)
66kg 級 千葉慎平 (3 回戦敗退)
73kg 級 千葉真之介 (第 3 位)
女子個人試合
63kg 級 菊池亜美 (第 3 位)
78kg 級 津嶋胡桃 (第 2 位)

■新大会県大会

男子団体試合	大船渡 4-1 盛農
	大船渡 0-5 盛南 (ベスト16)
女子団体試合	
1 回戦	大船渡 1-1 代 花東
男子個人試合	
60kg 級	鈴木新之助 (ベスト8)
66kg 級	佐々木寛治 (ベスト16)
66kg 級	千葉慎平 (1 回戦敗退)
73kg 級	千葉真之介 (第3位)
女子個人試合	
63kg 級	菊池亜美 (第2位)
78kg 級	津嶋胡桃 (第3位)

■全国選手権大会県大会

男子団体試合	
大船渡 二人残し○宮古 (1 回戦敗退)	
男子個人試合	
60kg 級	鈴木新之助 (1 回戦敗退)
73kg 級	千葉真之介 (1 回戦敗退)
女子個人試合	
63kg 級	菊池亜美 (第2位)
無差別級	津嶋胡桃 (1 回戦敗退)

定 時 制

●卓球部

■全国高等学校定時通信制卓球大会	
男子個人 1 回戦	
鈴木康平 1-3 新川みどり野 (富山)	
■定時通信制秋季大会県大会	
男子個人シングルス	
今野翔太郎、道下翔 (予選リーグ敗退)	
女子個人シングルス	
細川歩美 (予選リーグ敗退)	

●バドミントン部

■新大会県大会 2 部	
男子個人シングルス	
熊谷広幸 (第3位)	
川上諒、長野力也 (1 回戦敗退)	
女子個人シングルス	菊池美月 (ベスト8)

●陸上競技部

■全国高等学校定時通信制大会	
女子 塩口愛海 200m (準決勝敗退)	
	100mH (予選敗退)

●演劇部

■岩手県高総文祭 演劇部門 優秀賞	
「魔王のセトくん。」	
■演劇部 第1回自主公演 6月24日	
「希望の星の勇者学」	
■演劇部 第2回自主公演 1月7日	
「宇宙をつらぬく」	

●報道部

■岩手県高総文祭 写真展 出展	
長谷川響、井上杏莉	
■岩手県高総文祭 放送部門 朗読部門予選敗退	
今野瑞月、菊地翔介、長谷川響、新沼温斗	

●吹奏楽部

■大船渡市民芸術祭小・中音楽発表会 出展	
■岩手県警察音楽隊定期演奏会 安全・安心ふれあい「絆」コンサート in おおふなと 出展	
■全日本アンサンブルコンテスト岩手県大会予選 金石気仙支部大会	
金賞 金管八重奏、サクソフオーン四重奏、フルート三重奏	
銀賞 打楽器五重奏、クラリネット七重奏、管楽八重奏	

●音楽部

■復興支援音楽祭歌の絆プロジェクト 出展	
■岩手県高総文祭・高校合唱祭出展	
■大船渡市民芸術祭小中音楽発表会 出展	
■全日本合唱コンクール岩手県大会 優良賞	
■岩手県合唱小アンサンブルコンテスト 銀賞	

●書道部

■岩手県高総文祭 書道部門	
第1種漢字仮名交じり 奨励賞 藤井麻子	

●文学部

■岩手県高総文祭 文芸部門 文芸部誌 入選	
-----------------------	--

●JRC同好会

■岩手県青少年赤十字指導者研修会並びにリーダーシップ・トレーニング・センター&サマーキャンプ2016inいわて 参加 村上滉紀	
---	--

■岩手県高文連 国際理解専門部 JRC 委員会活動発表会 発表

笹崎航輝、遠藤京華、村上滉紀、高橋愛理、古水文也	
--------------------------	--

●囲碁将棋同好会

■高校級別囲碁大会 出場 岩瀨颯太、熊谷颯士	
■岩手県高文連囲碁新人大会 出場 熊谷颯士、三浦柊登、及川颯希	
■全国高校将棋竜王戦県予選 出場 岩瀨颯太、高橋自然、三浦柊登、及川颯希、菅野晃樹	
■岩手県高文連将棋新人大会 出場 岩瀨颯太、熊谷颯士、高橋自然、三浦柊登、菅野晃樹、及川颯希、斎藤智仁、山野目尊政	

●美術部

■気仙地区高校生によるワークショップ「アート&カルチャー」企画/展示	
■東京藝術大学デザイン科共創ルーム・大船渡高等学校美術部「ナツノアカリ」展 企画/展示	
■岩手県高総文祭 美術工芸展 絵画 特賞 鷲田ほか、小松真実	
■岩手県高総文祭 美術工芸展 絵画 入選 大和佑夏、多田真理子、佐藤美香、菅原千寛、小松真実、地野みれい、白土恵	
■岩手県高総文祭 美術工芸展 デザイン 特賞 鷲田ほか	
■岩手県高総文祭 美術工芸展 デザイン 入選 長野穂乃香、川島幸乃、大和佑夏、鷲田ほか、松岡朋美、菅野千寛、小松真実、地野みれい、川原みなみ、佐藤なる美、白土恵、村上瑞季、千田真由香、伊藤里沙子、鈴木沙優、小林彩乃	
■岩手県高総文祭 美術工芸展 立体 入選 佐藤なる美	
■第28回読書感想画岩手県コンクール 最優秀賞 地野みれい	
奨励賞 佐藤明優	
■ハートフルエピソードスターコンクール2017 優秀賞 白土恵	
審査員特別賞 千田真由香	
佳作 村上瑞季	

岩手国体空手道 少年男子形準優勝

富沢拳真

学校長をはじめとする先生方、関係者の皆様方のご理解とご協力によりいわて国体を無事に終えられたことを嬉しく思っています。個人としては、決勝までは勝ち上がることができましたが、緊張のためミスをしてしまい2位という結果に終わってしまいました。悔しい気持ちもありますが、この経験を糧に大学進学後も空手道を続け、次は日本一を獲れるように精進していきたいと思っています。

全日本ビーチジュニア男子選手権大会 決勝トーナメント進出

佐々木優人・志田隆太郎

ビーチバレー全国大会はレベルが高く、厳しい試合が続きました。予選リーグ初戦の長野県代表との試合は1-2で敗れました。決勝トーナメント進出がかかった2戦目の岡山県代表戦は勝利し、決勝トーナメント進出を決めることができました。決勝トーナメントでは、1回戦で戦った宮崎県代表に敗れ初戦敗退となりましたが、実力で決勝トーナメントに進め自信と共に貴重な経験をすることができました。

今回のビーチバレーを通じ、ボールだけでなく、味方や相手の選手的位置などの把握、それを踏まえた駆け引きなど高いレベルの試合を経験できました。この経験を今後の部活動へ繋げたいと思った全国大会でした。

富沢 魅惑の表現

表裏行

空手道は武道であるが、試合中は競技である。少年空手の試合は、大船渡高校1年の富沢拳真選手が中心となっている。富沢は空手の経験が豊富で、試合中は冷静な判断力と、試合後の熱い気持で、試合に臨む。富沢は空手の経験が豊富で、試合中は冷静な判断力と、試合後の熱い気持で、試合に臨む。



少年空手選手権 富沢の試合風景(岩手県空手連盟提供)

「富沢拳真選手、空手道で魅惑の表現」





卒業生からのメッセージ

「自信と誇りと感謝の心を」

菅原 圭一 (昭和48年度卒)

プロフィール

昭和30年生まれ。大船渡市大船渡町在住。明治学院大学文学部卒業後、都内の会社に勤務。30歳の時、大船渡に帰り、家業の手伝い。その後、印刷会社に勤務。一念発起し、55歳で退社し、家庭教師となった直後に、東日本大震災発生。現在、家庭教師を続けながら、震災ボランティアの拠点「カリタス大船渡ベース」ベース長。大船渡市主任児童委員。人権擁護委員。

震災から6年が経過しました。私たちのふるさと、大船渡市と陸前高田市は6年前のあの日、壊滅的な被害を受け、その後、ゆっくりゆっくり、しかし確実に復旧復興してきています。あの日、皆さんはまだ小学生でした。小学校から中学、高校と、震災に負けずに頑張ってきて「今」があります。悲しいこと、苦しいこと、我慢しなければならぬこと、いろいろなことを体験し、それを乗り越えて「今の自分」があります。どんな形であれ、あの未曾有の大震災を乗り越えて生きてきたのです。それは、これからの人生を生き抜いていく中で、大きな自信と誇りにしていくことが出来ることだと思います。

そして決して忘れてはならないこと、それは自分たちが頑張ってきたことが出来たのは周囲からの温かい、いや熱い支援があったからこそだということです。国や県、自衛隊や海外のレスキュー隊の被災地支援はもちろんのこと、全国、全世界から寄せられた義援金や救済物資、駆けつけてくださったボランティアの方々。その存在を決して忘れてはなりません。その支援に励まされ、勇気づけられて私たちはあの状況を乗り越えてこれたのですから。



ボランティアに駆けつけてくださった方々による支援活動の中で、皆さんの身近で行なわれた学校行事への支援のひとつを紹介したいと思います。「あの時の、あの方々のことだ」と思い出してほしいのです。

震災当時、私は勤めていた会社を辞め、新しい仕事を始めたばかりでした。私に時間の余裕が出来ていることを知っていた大高時代の同級生から電話が入りました。学校支援のボランティアをやらないか、というものでした。どんな活動かも分からないまま、指定された公民館へ行き、大阪から被災地支援に来てくださった「キャリアリンク」という会社の方々に会いました。学校の運動会支援のために来ているとのことでした。

その会社は学校と企業を結び付ける教育コンサルタントの会社で、被災地の学校と子どもたちを支援することを決め、事務局となって5月に「学校スマイル応援プロジェクト」を立ち上げました。そのプロジェクトは、次世代育成支援に取り組んでいる企業と連携して、学校の教育活動を応援する活動でした。5月は気仙地方では小中学校の運動会が開催される月でした。しかし震災で多くの学校は校庭に仮設住宅の建設がはじまり、運動会を開催することが出来ず、見送ることになっていました。

一方、このような時だからこそ学校にとって重要な教育活動である運動会をなんとか開催して、子どもたちの元気な姿を保護者や地域に届けたいという先生方の熱い思いもありました。使えるグラウンドを使用し



てなんとか開催できないものか。しかし、自校以外のグラウンドでの運動会開催は、児童・生徒の移動をはじめ、準備、運営等々、開催校の先生方だけでは実施は困難でした。そこにプロジェクトの第1弾「運動会サポートキャラバン2011」として、テントや椅子などの物的支援、設営・

運営などの人的支援を学校に申し出てくださったのです。私は現地スタッフを引き受けることにしました。

大船渡市と陸前高田市の学校を回り、日程調整、教育委員会との打ち合わせ、宿泊手配、備品の打ち合わせ等のお手伝いをさせていただきました。プロジェクトの趣旨に賛同した企業が資金を提供し、スタッフも送っていただきました。花王、野村證券、パナソニック、リンク&モチベーションの社員の皆さんが来ていただきました。備品はレンタル会社や地元企業から調達しました。児童生徒や保護者の移動用のバス、テント、机、椅子、ベンチ、音響設備、ラインカー、バトン、ピストル、玉入れの玉、かご、大玉転がしの玉、綱引きの綱、協賛企業の社員の皆さんからの応援メッセージが書かれた万国旗、水分補給用の水、仮設トイレ、避難所生活をしている児童生徒に配慮して昼食用の弁当まで準備してくださいました。



スタッフは前日の準備や当日のサポート、そして後片付けまで支援していただきました。看護師さんや撮影カメラマンまで手配していただき、至れり尽くせりの支援でした。こうして、2011年6月25日(土)、大船渡北小学校の運動会が、大船渡小学校の校庭で開催されました。広いグラウンドで運動会ができる子どもたちの満足感、充実感、達成感に満ちた笑顔。それを見守る先生方、保護者の方々の笑顔。運動会は大成功でした。

企業から参加したスタッフの方々には児童たちの真剣な表情、礼儀正しさに感動し、「運動会にこんなに真剣に取り組む姿を見たことがない。かえって元気をもらった。」と話し、応援パネル、応援合戦の素晴らしい、支援に対する感謝の姿勢に大感激して、「また応援に来ます」と言って帰られました。この年は、北小、広田中、小友小、高田一中、綾里小、大中、越小、崎浜小、南嶺小、赤小、蛸小、盛小、末小、赤中、小と計15校の運動会を支援していただきました。オレンジ色のビブスを着て、校庭や駐車場にいた、あの方々のことです。

翌年からは教育委員会が調整をしてくださり、「学校スマイル応援プロジェクト」は学校のグラウンドに仮設住宅がある間は支援が必要、とずっと継続して支援していただきました。震災直後の運動会是这样して実現したのです。本当にありがたい支援でした。

大高生の皆さん。震災から6年。世界中の、日本中の方々から熱い支援をいただいて「今」があることを決して忘れないでください。その支援に対していつまでも感謝する



心を持ち続けてください。大高を卒業して全国、全世界に羽ばたいていく君たちに、震災を乗り越えてきた自分に自信と誇りを持ち、感謝の心を持って、それぞれの置かれた場所ので、精一杯活躍していただくことを期待しています。

編集後記

▲名前ばかり委員長でしたが、先生方や他の委員の皆様は助けてもらい、本年度も無事「さかみち」を発行することができました。本当にありがとうございました。(川口) ▲2年間広報委員をさせていただき、微力ながらPTA活動に親として関わることができて良かったと思っています。何よりも先生方や保護者の方々と活動を通じて親しくなることができたのが財産です。(鈴木) ▲春はもう少し先。「さかみち」は背筋を伸ばして！(地野) ▲右も左もわからぬままの広報委員活動への参加でしたが、先生方、各広報委員の方々のおかげで「さかみち」編集の仕事は少しでも知る事ができ勉強になりました。ありがとうございました。(及川) ▲PTAの皆様のお気持ちを感じ、微力ながら1年間務めさせて頂きました。1年間ありがとうございました。(澤田) ▲なかなか協力できませんでしたが、皆様のお力で3年間広報委員として活動させていただきました。大変感謝しております。ありがとうございました。(栂田) ▲たくさんの方々の協力のもと、今年度分の「さかみち」を発行することができました。先生方、他の広報委員の皆様、1年間本当にありがとうございました。(阿部)

岩手県立大船渡高等学校 PTA 事務局 TEL 0192-26-4441 FAX 0192-26-0792

題字「さかみち」の文字は、元校長 只野弘三先生の直筆を用いております。